

第9回 地域医療機能推進機構宮崎江南病院 地域協議会 議事録

開催日時	平成30年4月17日(火) 18:40～	議場	ウェルシティ宮崎
出席者	田中俊正 前野正和 宮本耕次 荒武慎児 西田敏秀 岡野眞法 梶田 啓		
敬称省略	白尾一定 松尾剛志 大安剛裕 中村 敦 渡辺朋子 新町智穂 佐藤貴代		

事務局より

【中村事務部長】これから第9回地域協議会を開催します。院長白尾より報告させていただきます。

- 【白尾院長】
- ・スライドを使つての説明(別紙資料あり)
 - 第8回地域協議会以降のJCHO宮崎江南病院の動き
 - 在宅療養後方支援病院
 - JCHO宮崎江南病院の現状
 - 一般病棟の施設基準状況、救急車受入れ状況等
 - (新)重症度、医療看護必要度について
 - 平成30年診療報酬改定に伴い江南病院としての方策、課題と目標等
 - JCHO宮崎江南病院の機能について(別紙資料)
 - 【今後の課題と目標】
 - ①病棟稼働率の向上
 - ・地域医療支援病院として(MRI2台体制、CT整備)
 - ・紹介率向上、救急の受け入れ、新入院患者数の増加
 - ・在宅療養後方支援病院として
 - ・地域包括ケア病棟の急性期としての利用
 - ②平成30年度医療・介護同時改定への対策
 - ・急性期一般入院基本料1算定
 - ・慢性期病棟(回復期リハ・地域包括ケア病棟)
 - ・介護老人保健施設(超強化型・短期リハ)
 - ・訪問看護ステーション(機能強化型)
 - ③クラウド型電子カルテの導入
 - ・パイロット病院としての基本パッケージの導入
 - ・地域包括ケアシステムに対応した電子カルテを目指す

委員の皆様からの意見

【西田委員】保健所に関係あるところで、インフルエンザのアウトブレイクということでしたが、他のところでも大小様々ありました。短期間で迅速にとどめていただけて良かったと思います。

【荒武委員】地域包括ケアシステムへの取り組みについて
訪問看護と訪問リハの現状はどうなっていますか。

(病院より)訪問看護・訪問リハビリとも利用者数は増えています。当院は大規模訪問看護なのでニーズに合わせて対応させて頂いております。地域の先生方からの指示も増えています。
すぐ受け入れられるような体制をとっていますので、訪問看護も地域への貢献をさせていただきます。

【梶田委員】回復期リハビリ病棟稼働率が少ないということでしたが、紹介をいただくために以前は他の病院に案内に伺ったりしておりました。
また、以前はもっとリハビリが充実していた印象ですがリハビリが薄くなっているような気がします。
他のところに割と優秀なスタッフが引き抜かれたのかなと感じています。

(病院より)回復期リハビリ病棟については、市郡医師会病院や大学病院で手術した患者さんを受けていることが多いです。回復期病棟は、宮崎市内に多くはなく、当院は、脳外科がないので整形外科が中心となっています。整形外科の先生も入院患者がおり、回復期リハビリに専門医がいるといいとは思っていますが、難しい状況です。診療報酬改定で算定要件も厳しくはなっています。
スタッフも近くの先生のところに入った方もいますが、リハビリ士長も、人吉病院より異動で来られ、若いスタッフも入っているので人数は以前と変わらないです。

【梶田委員】あと、江南病院に回復期リハビリ病棟があることが、あまり浸透していない印象を受けました。
先日、認定審査会に出た時に、江南病院に回復期リハビリ病棟があることを知らなかったと言われました。
割と知らない人もいるのでもう少し広報をすると思います。
専任の先生がいらないのは確かに大変で先生方の負担も大きいと思います。

年間通して、超急性期の病院などは挨拶周りに行っています。
これからは、依頼があってからいかに早く受け入れるかが、今後の選ばれる病院としては重要になってくると思います。

連携室で広報をしながら、院内の先生達とも協力をお願いしながら頑張っていきます。

- 【宮本委員】回復期リハビリテーション病棟に入院されているのは、ほとんど整形疾患の方ですよ。
市郡医師会病院や大学病院からよく来ていると思いますが、2年後、市郡医師会病院が移転した際に、紹介患者さんの流れがどう変わっていくのかを、江南病院として考えておかないといけないことだと思います。
市郡医師会病院は、医師会会員の先生からの紹介がほとんどだと思います。生目地区に移った際に本当にどうなっていくのかなと思っています。
また、冠動脈CTが出来るようになったとお聞きしましたが、もっとアピールして、循環器内科の方には平山先生を中心に頑張ってもらいたいです。
循環器検査の敷居も下がって紹介しやすくなるのではないのでしょうか。

(病院より)2年後の市郡医師会病院の移転に伴う、今後の動きについては、江南病院としても検討していきます。
冠動脈CTについては、地域の先生方へも広報誌等使い案内させていただきます。

- 【岡野委員】歯科医師として、今回の診療報酬改定について、お聞きしていましたが非常に大変だなと思っています。
その中で江南病院のスタッフの方々には本当に頑張られていると思います。
今後は、健康寿命を延ばしていくことが大切だと思っています。地域の中核病院として頑張ってもらいたいです。

- 【前野委員】在宅療養後方支援病院として強化をしていくと聞くと私達としては非常に安心です。
在宅療養支援診療所をしているので、江南病院が在宅療養後方支援病院として、患者さんを受け入れてくれるのは助かっています。
現在1人だけ登録させて頂いています。当院に通院していた方達が、往診が必要となりつつあります。
後方支援としての患者登録を増やして大丈夫なのか、まだまだ余裕があるのかの情報等を定期的に教えてもらえると助かります。

(病院より)登録数は、120名程ですが、医療機関によって患者数が違います。多いところもありますが、月々の在宅療養
広報支援登録患者の入院数は2~3名程度です。まだまだ増やしていただいても問題ありません。
今後、定期的に登録状況など報告させていただきます。

- 【大安委員】在宅に関しての話ですが、慢性創傷の患者さんが増えています。その中には高齢者、状態が悪い方など
特に当院には透析患者さんが多いのですが、透析の方は状態が悪い方が多いものですから
傷が治らないという方も多いです。今後も地域の先生方にも協力して頂きながらやっていきたいと思っています。

- 【松尾委員】働き方改革と言われている中で医師の働き方は大変厳しい状況になっています。1番難しい。
地域の先生方との連携を上手くやっているともう少し外来の負担を減らして、入院を中心に
していけるとと思っています。宜しくお願いします。

- 【田中委員】私は、田舎で開業しているので、本当に山の奥にまで、往診に行かないといけない。
車でいけないところもある。
訪問看護などチームを作ってやっていかないと難しいと思っている。

色々のご意見をありがとうございました。
今後ご意見を参考にしながら検討させていただきます。

- 【中村事務部長】他にご意見等はなかったでしょうか。
なければこれで地域協議会を終わりたいと思います。
この後は、少しお時間をいただき、当院の緩和ケアについて外科の秦外科診療部長よりご紹介させていただきます。

次回開催予定

平成30年10月16日(火)